第１０課　管理者の務めの役割

【暗唱聖句】

「神がわたしたちを招かれたのは、汚れた生き方ではなく、聖なる生活をさせるためです」第一テサロニケ4:7

【今週のテーマ】

今週は良き管理者として、道に迷ったり、脇道にそれたりすることなく、正しい道を歩み続けるために、その核となるものを学びます。

【日曜日・中心としてのキリスト】

良き管理者として正しい道を歩むためには、聖書の中心はイエス・キリストです。わたしたちの生活もイエス・キリストが中心とならなければなりません。「イエス様はすべてのものの生きた中心だからです」（伝道P255）。

「万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである」コロサイ1:16～18

この世界はすべてイエス・キリストのために、イエス・キリストによって創造されました。つまり、イエス・キリストを中心に世界は動いているのです。このことを正しく理解すれば、わたしたちがなぜイエス・キリストを中心に生きなければならないのかがわかってくることでしょう。これを忘れると、わたしたちは途端に歩むべき道を見失うことになるのです。

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである」5:17

この聖句も、キリストを中心に生きる者たちこそが新しく造られた者なのだと教えています。

【月曜日・聖所の教理】

良き管理者として正しい道を歩むためには、中心であるキリストの聖所での働きをよく理解していなければなりません。聖所は、キリストの贖いの死とわたしたちの罪の許し、罪を来たらせる悪魔の滅びなどを象徴的に表す、わたしたちの信仰にとって最も重要なものの一つです。今もキリストは天の聖所においてとりなしてくださっています。そのことを考えると、キリスト中心の生き方が求められる私たちは、聖所の意味をよく理解することは重要です。それはまるで車輪のハブが車輪を安定させるように、わたしたちの信仰を安定させてくれることでしょう。

「わたしたちが持っているこの希望は、魂にとって頼りになる、安定した錨のようなものであり、また、至聖所の垂れ幕の内側に入って行くものなのです。イエスは、わたしたちのために先駆者としてそこへ入って行き、永遠にメルキゼデクと同じような大祭司となられたのです」ヘブライ6:19、20

イエス・キリストは大祭司として天の至聖所でとりなしをしてくださっています。罪がすべて取り除かれます。私たちの希望は、至聖所におられて、わたしたちをとりなしてくださっているイエス・キリストとともにあるとき、魂は錨のように安定したものとなるのです。

【火曜日・キリスト中心の教理上の信仰】

「イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」ヨハネ14:6

聖所の学びが重要なのは、そこに救済の偉大な真理が力強くあらわされ、十字架の贖いの意味が明らかになるかです。その中心はイエス・キリストです。セブンスデー・アドベンチストの教理はどれも、この福音の約束と救済に結びつけられたものでなければなりません。

イエス・キリストがご自分を真理であると言われましたが、セブンスデー・アドベンチストの教理も当然、キリストを中心としたものであるがゆえに、真理を土台としたものであります。それはわたしたちの生き方に影響を与えています。良き管理者として正しい歩みは、教理上においても、この真理であるイエス・キリストを中心として生きることです。セブンスデー・アドベンチストとしての独自性は教理上の教えに根差しているわけですが、その中心にはいつもイエス・キリストにあることを忘れてはなりません。

【水曜日：三天使の使命】

「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」黙示録14:7

良き管理者として正しい道を歩むためには、三天使の使命をよく理解し、それを世に伝えることによって神様の宣教の働きに協力しなければなりません。聖書によれば神様が世界規模の大惨事の到来を警告されたのは2度だけです。一度目はノアのときに、そして2度目はこの三天使の使命においてでした。三天使の使命はベールにかかって見えなかった未来の世界の出来事に対して、そのベールを取り除き、明らかにするものでした。そのメッセージの中心は創造主なる方に立ち返ること、すなわちイエス・キリストが中心となっているのです。キリストへの信仰による義認は、三天使の使命そのものです。良き管理者は人々に永遠についての決断を下すことができるように助けてあげます。

【木曜日・管理者の務め】

「神がわたしたちを招かれたのは、汚れた生き方ではなく、聖なる生活をさせるためです」第一テサロニケ4:7

神様はわたしたちに対して聖なる生活をするようにと招いておられます。良き管理者の務めは、聖なる生き方ができるように自分自身を管理していくこととも深く関わっているのです。では、聖なる生活とは具体的にどのようなことを言うのでしょうか。

「召し出してくださった聖なる方に倣って、あなたがた自身も生活のすべての面で聖なる者となりなさい」第一ペテロ1:15

ここに召し出してくださった聖なる方に倣ってとあります。つまり、イエス・キリストのようにということです。イエス・キリストに倣って、生活すべての面で聖なるものを求めていかなければなりません。では、どうしたらキリストのような聖なる者となることができるのでしょうか。このことに関して、エレン・G・ホワイトは次のように解説しています。

「聖霊の働きによって魂が清められるということは、キリストの性質を人間の中に植え付けることである。福音を信じることは、生活の中にキリストが宿ること―すなわち生きた活動的な原則が宿ることである。それは品性に良い行いとなって現れるキリストの恵みである。福音の原則は実際の生活のどの方面からも引き離すことができない。クリスチャンのどんな経験も、どんな働きも、すべてがキリストの生活を代表するものでなければならない」

聖なる生き方は、聖霊の働きであり、それを心から願い求めるなら、聖霊によってキリストの性質を人間の中に植え付けられます。それはキリストが生活の中に宿るということです。品性が良い行いとなって現れます。

「すべての人との平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません」ヘブライ12:14

聖なる生活を追い求めるとき、ついに主を見るものとなります。